

風光



9月11日(土)労働会館東館ホールにて東海地方本部・第30回定期大会が開催され、17運動方針や16年秋闘方針、スト権、役員体制などを確立しました。

154人の出席代議員・オブザーバー・来賓の方々・執行委員を含め192人が参加し、24本の発言で活発な討議がされました。



開会のあいさつ

昨年の九月に安保法制の強行採決があり、何かできることがないかを日々考えてきた。活動の支えとして共感できる仲間が存在があった。東海地本は特に仲間の存在を感じられることを大切にしてきた。私たち一人ひとりが活動に自信をもてるように確認、振り返りをしていきたい。

執行委員長 寺坂歩



「福祉は権利」を合言葉に団結ガンバロー!

8月に原水禁世界大会に参加。どうやって核をなくすかなど話し合う。非核三原則の署名や、世界各地の活動が紹介された。会場にはアメリカの大学生が核の恐ろしさを知りたいと来ていた。被爆者の平均年齢はもう80代。貴重な話を聞いて、

東海地本 第30回定期大会

〈大会発言要旨集〉

1、中村東支部活動と原水禁世界大会に参加して
 かわらまち分会

西川佳寿代議員



支部では新歓、平和活動、未組織訪問などに取り組んできた。グループエス前に支部内にある、きょうされん加盟施設など未組織職場を訪問した。当日、さらに予定していなかった小さい保育所など突然訪問もした。「未組織職場を知らないからいいや…」ではなく、「拡大しよう!」という思いで取り組めたのでよかった。やまびこの職員とつながった活動が今年できなかったので次の課題にしたい。

かわらまち分会

樋田千夏代議員

支部長が変わり世代交代もあつたため、毎年6月に行う学習会に25周年の記念誌を使った。今まで職場の要求を丁寧に聞きながら勝ち取ってきた歴史が学べた。参加した分会からは「やっつてよかった」という感想が多かった。9月に新歓を行う。「組合とは何か」を再び学びなおしたい。



尾張支部の特徴
 小牧、春日井と違う市町村が集まっているのが

3、25周年冊子を使って学習
 野村一樹代議員

2、熱中港支部の活動についてのぎく分会
 小川安里紗代議員



お坊さんバンドを呼んだりの、ぎくの父母からダンスを教えるも

参加できてよかった。もっと多くの人に参加してほしい。

副執行委員長
 薄 美穂子

執行委員長

めいほく保育園分会

副執行委員長

ぼけつと分会

新瑞福分会分会

くさのみ保育所分会

のぎく保育園分会

書記局分会

書記局分会

書記局分会

書記局分会

みよし保育園分会

みなと福祉分会

池内わらへ保育園分会

社会館分会

新瑞福分会分会

清明山保育園分会

くまのまえ保育園分会

個人加盟

社会館分会

けやきの木保育園分会

なえしる保育園分会

田代保育園分会

ゆたか支部

すずかけ分会

ぼけつと分会

太白福祉分会

ひまわり保育園分会

新瑞福分会分会

そよ風分会分会

かわらまち保育園分会

社会館分会

どんぐり保育園分会

会計監査

安藤 光枝

加藤 圭

池内わらへ保育園分会

清明山保育園

4、ゆたか支部の要求闘争

ゆたか支部 平岡英男代議員
団交でいろいろ
具体的になった。

①個人にあつた
職場復帰プログラム
を作る。②



60歳定年制度では嘱託で賞与がない。管理職からもおかしいという声があり、組合としても要求をしていく。③異動が困るからと非正規になつている職員が安心して働けるよう、職場を限つた「限定正職員制度」が来年度から始まる。それで給与が上がり、慶弔休暇も改善される。

「パートではあつた話そうえんでパートの声も聴ける場を作り2名の組合員が加盟。フンコイン共済もすすめている。分会員の若返りもしていきたい。

5、ストライキ権を学ぶ

いりなか分会 伊藤裕実代議員
いりなか・おあしま分会でスト権学習会を行う。新人職員が増えた中、ほとんどの人が参加してくれた。「分会とは」という基本から、スト権についてまで深く学ぶことができた。また、話をきいた後で感想を出し合う中、09年のスト討議の話や外国での様子、学生時代に私学助成金で先生がハンストをしていた話など具体的な話が出た。やるからにはメディアに訴えたり、自



分たちも楽しめる方法をとつたりと、さまざまな意見も出た。分会員で意見交換もできよかった。

6、ストライキの意義を共有

清明山分会 藤井友子代議員
ストライキ

の際、①ストを
実行し就労放棄をした場合、子どもや保護者に迷惑がかかるのでは？②自分たちの利益のために身勝手な行動だと思われませんか？という不安があり、清明山・田代分会で合同の学習会を行った。①は事前に十分周知し、やり方も時間で交代など工夫をすること、②はストを行つてまで伝えたい思いがあると団結し、管理者側にも理解を求めることが大切だと分かった。



今の政権がナチスに似ている。増税のメディアの扱い方もおかしい。それは違うと言えるように学びを深めるため分会で学習を！

7、調理員もB等級格付けに！
ひまわり分会 松木歩代議員
どんぐり分会 渡辺佳子代議員
栄養士はB等級だが調理員は違う。20年以上要求し、闘い続けて調理員のB等級を勝ち取った。「法人では保育・食育を大切にしたいので、B等級にする」と回答をもらえた。いつも悔しい思いをしてきたが、日々の実践を訴え続け、実現した。どんぐりの調理員も「B等級になり、これからも

んばれる」と言つてくれた。財源の課題は残るが団交でつめていきたい。名古屋市公立の調理員賃金が下がると困るのでそこも考えていきたい。

8、団交で給食職員のB等級適応

けやきの木保育園分会
田中那路子代議員

以前から給食室の給料が低いと言いつつ団交に向け、保育士との差を比較した。給食室は保育の一環として食事に関して工夫をしている。子どものことを考えているのに金額が違うのはおかしい。団交の時に目で見えるように教材等を置いて訴え、B等級を勝ち取った。大卒はB大、短大はB短になり前歴加算もされることになった。



ん「じゃなく、「行つてきます」と言つて行けるように。それが支えるということ。大変なこともあるが地本を支えるという意



味でも出席率を100%に近づけよう。

10、労使基本協定と
執行委員の選出について
ほしぎ分会 佐藤由美代議員
労使基本協定締結提案の初年度は各分会「やらなければ」という思いがあつたが、それ以降なかなか難しい現状もあると思う。名南3分会は毎年締結し直している。必ず全分会で締結していけるように。世代交代もあるが、今までのことも学び伝えていきたいと思う。執行委員は会議がいっぱいあつて大変。他園のことも聞けて元気になるけど、やっぱりしんどい。分会で聞いてあげること大切。執行委員を送り出した分会は支えてほしい。出せない分会は地本に聞きながら、地本とのつながりを作つて運動していこう。

9、地本執行委員を支える
くまのまえ分会 坂口敏也代議員
執行委員を支えることについて。定例の第1火曜15時からの会議開始時には2割もいない。それぞれの職場で組休があると思う。あれば送り出したいが「状況によつて」となっているのが現状。主任や施設長に訴えて出せるようにしていこう！執行委員が「すみませ



11、分会で本音で話し合つて
のぎく分会 山田淳美代議員
理事会より、二ツ橋保育園受託の話があつた。「組合が反対なら無理にはしない」と言われる中、3分会で話し合った。分会では

「今でもしんどいの」に「運動を積み上げてきた人がいなくなる」が不安。「目の前の子どもたちのことを守りたいのに、他の園のことも考えるのは無理」など率直な意見が出された。無理をして、誰かがつぶれてしまふのは避けたいが、新園をやりたいうという思いを共有した。「無理に「しんどい」という気持ちも全部、素直に話し合つたことが分会の力になった。不安はあるが、今自分のできることをがんばりたい。



12、要求して一歩ずつ前進
ぐみの木分会 市川祥子代議員
10年前に認可を受け、組合を結成。当初は有給を取ろうという意識もなかつたが、今では「有給を取つて旅行に行こう」と計画を立てるようにもなった。組合があることで意識も変わった。

今まで一時金の支給日や基準があいまいだったが、団交の結果、支給日を確定させることができた。また、退職金共済への加入も検討されることになった。夜の会議や他団体との連絡会、保護者との共同活動も負担を減らすことができた。それで心身に余裕がうまれた。

9月28日に
鈴鹿市交渉。
何か1つでも
勝ち取りたい。

9月28日に
鈴鹿市交渉。
何か1つでも
勝ち取りたい。



13、障害児施設での民調堅持を！

そよ風分会 後藤由紀

名古屋市の障害児施設の運営費補給金を見直す計画。この間父母と共に、市や議会に対して民調堅持を訴え、宣伝行動などしている。子どもの出席率で補助金が減るので、保護者に「休んでしまっすみません」と申し訳ない思いをさせている。9月に市の担当課との懇談を持つが、市としては今までの方針に逆らって補助金を出してきたが、それも限界との回答問題の本質は国。全ての子どもに発達を保障される権利がある。それを守ってほしい。



13、職場での要求闘争 さくらんぼの会分会

濱田康作代議員

昨年5月から団交を重ね、ベアスアップを要求してきた。団交では、地本・支部からも応援が入ることで分会の力になった。結果、財政的な見通しが立てば給与と表の不具合を修正し、優先的に賞金アップをすることを確認し、最賃連動型給与と表の提案も撤回させることができた。

この間「みんな決めて、みんなで進める」という思いを大



切にしてきたが、難しさもあり反省が残る。要求活動だけでなく共済から組合に興味を持つ仲間もいて、そこから拡大していきたい。

15、2人でも分会活動

ほつとはむ 原史江代議員



オルグに来てもらっても、なかなか組合加入には至らなかった。しかし一時金の支給日と基準額が不明確という問題から「変だよな」「やっぱり組合で要求しなくちゃー」と思い、一人で福保労に加入した。要求して変わっていくところを見て「一緒にやってもいいよ」という人が増え、今は二人。今年はその甲斐あって、7月に一時金が支給された。しかし、職場が変わっても「ありがとう」と言われるだけで、なかなか加入にはつながらない。組合費が高いという声もある。それでも一人ひとりに声をかけていく。ぐちをぐちだけに終わらせない活動をしていきたい。

16、生き生きと働ける職場に

そよ風分会 山下雅美代議員

そよ風が療育センターになって20年。子どもたちの状況も変わり、重度・重症化、拡大化に伴い、高い専門性が求められる。しかし反対に補助金は削られ、労働条件も引き下げられ、働き続けられるか不安が募る。

そよ風では定

員を40名から50名に増やし、療育時間も30分伸ばした。子どもたちにとっては良いことだが、働く者は我が身を削りながら働いている。これから団交に向かっ、組合員の思いを結集していく。良い方向を目指して、4分会で連携し、法人全体での雇用条件をよくしていくことを目指す。若い人、家庭を持っても働き続けられる職場にしていきたい。



17、初めての団交

あつた分会 前橋裕子代議員



今年で結成10年、初めて要求書を出して、団交をした。そして、インフルエンスの予防接種上限3000円を勝ち取った。0から一歩前に踏み出した。未組織の人が多いのでその人の要求も聞くとうアンケートも取り組んでいる。これから組織拡大を目指していく。

18、一人ずつ組織拡大を

デイサービス東町 山本美紀子代議員

名北福祉会には高齢職場が3つあり、正規5人くらいパートが30人くらい。「パートで



組合から」と躊躇するところもあ

たが、働き続けられるいい職場にしたいと活動がんばっている。他のパートさんから「1分でも時間を過ぎたら超勤なの？」と聞かれ、残業代が出ないのはおかしいよね、という話から組合に入ってくれて、今は二人で活動している。「組合費が高い」という意見もあり、なかなか広がらない。でもつながりを作ろうと食事会を計画したらパート全員が参加してくれた。要求はある。一人でも増やしていきたい。

19、保育協・保育ネットの報告

けやきの木分会 大瀧麻友美代議員



7月の市交渉では要求項目を絞ったり、現状を伝えるために、各分会で朝夕の子ども的人数を調べたものを準備して臨んだ。市側からは「交渉をする必要があるのか？」と言われるが今後も続けていく。そのためには市に対してただ大変さを伝えるだけではいけない。保育は公的責任で行われるものだという意識で、国に対しても訴えていくことが必要。県交渉でも国に訴えるために現場実態を知りたいと言われる。名古屋市の技能労務士の賞金引き下げは、給食調理員の給与問題として私たちにも直接つながってくる。一緒に反対していきたい。

保育ネット・名古屋の保育に関わ

るいろいろな団体・組織が集まっている団体。今年は各団体がどのような要望を出しているのかを学びあったり、公立保育園の民間移行について交流もしてきている。今後の運動のあり方についても検討していく。10月22日にわらわうたの学習会をけやきの木で行うので参加して下さい。

20、障害協議会の活動報告

ほけつと分会 渡辺萌美代議員



障害協では自治体に向けた要求書を作り、毎年県交渉・市交渉を行い、全国の仲間と厚労省交渉も行っている。交渉では日払い制度・相談支援事業などの制度の矛盾を訴えてきた。しかし、市も国も現場のことが分かっている。もっと伝えていく必要がある。また、児の分野では市との懇談を持ち、意見交換を行う。他にもスポーツ交流など楽しい企画もしている。11月に総会があり、この間議長不在の運営になっているので、体制を整えたい。もっと障害職場の仲間を拡大したい。

21、出張臨パ部会

かわらまち分会 牧村恭子代議員

かわらまち分会に出張臨パ部会に来てもらい、10人以上の参加者があった。話題になるのは継続雇用のこと。「本当に継続雇用して

地本カルトクイズ

組合員がたくさん増えています。新しく組合の仲間になってくれた皆さんに、もっと東海地本のことを知ってもらおうと出来たコーナー！

昨年は、結成25周年にあたり、記念行事も盛大に行い、25年の歴史の積み重ねを後に伝える記念誌も作成できました。この記念誌や毎号の風光るの中から3問「地本カルトクイズ」を出題しています！皆さん、ぜひご応募ください。

【5回目の当選者】

- 石堂 友梨 (清明山分会)
- 小川 安里紗 (のぎく分会)
- 小柳津 直 (さくらんぼ分会)

当選、おめでとうございます♪

【5回目の正解】

- 1問：25周年誌に載っている2010年12月のクリスマスアピールでみんながしている服装は何？→サンタクロース

2問：非正規で働くなかまの全国交流集会@北海道大会の開催日は？→6月4～5日

3問：16春闘で駐車場代を勝ち取った分会は？→こぐま・第二こぐま分会

【第6回目カルトクイズ】

第1問：名古屋で初めて民間移管された公立の保育園はどこでしょう？

第2問：分会結成して初めて団交した分会は？

第3問：新執行委員長は誰でしょう？

お題：おすすめの紅葉スポットは？？

応募方法：FAXかメールでお気軽にご応募ください！

FAX：052-881-2998

E-mail：fukuhotk@onyx.dti.ne.jp

(件名にカルトクイズと記入願います！)

回答応募の際には「お題」にそって一言メッセージも書き添えてください。全問正解の方のうち、3名の方のメッセージを紙面に掲載し紹介します。見事掲載された方には地本「風光る」から**1,000円の図書カード**を進呈します！



出演したが、周りからバッシングを受けていた。今、相対的貧困が増えている。政治がそういう人を攻撃し、見殺しにしている。

21、LDTの活動報告
めいほく障害部分会 塚本洋平
すずかけ分会 新城圭祐
これまで学習会やアピール・宣伝などをしてきた。参院選で改憲勢力が3分の2を超え、9条の改悪もありうる状況の中、もっと学び発信したい。11月に沖繩の現状について語り合う会を設けた。沖繩ではヘリパット建設が強行され、市民が座り込んで反対をしている。そういう状況も学び、何かしたい。貧困も大きな問題。先日NHKの番組で貧困から進学できない女子高生が実名で出演したが、周りからバッシングを受けていた。今、相対的貧困が増えている。政治がそういう人を攻撃し、見殺しにしている。

「もうそのか？」と不安だったと話す。率直に話し合える場が必要。



23、青年部の活動
後藤貴章執行委員
青年部では余裕がない中でも、楽しいことを通して元気になろう！と企画を作ってきた。仲間とのつながりを大切に、つながりの中で出てきた問題や悩みを話し合っていければと企画。今度はスポーツ交流企画を開催します。出張青年部もやっていきたいので、ぜひ分会で呼んでください。



24、労働講座実行委員会 平石章乃執行委員

8月30日に第1回の実行委員会を行う。有給や育休、勤務体制の組み方など実態を話し合う。今年は11月26日(土)に開催。ぜひ各分会から実行委員を送り出してほしい。



長い間地本を支えてくれた役員2人から一言

執行委員1年目は、何もわかりませんでした。石の上にも13年。

たくさん笑って、ちょっと泣いて、いっぱい怒って、時々学んで、『福祉は権利』を確信しました。たくさんの方との出会いが私の財産です。

ありがとうございました。

安藤 光枝

働き初めてすぐに執行委員となり、不安な中でも自分でやれる事はやりたい！と葛藤しつつ担当したのが懐かしいです。時には凹み、時には喜び…。長く続けられたのも共感できる仲間がいたから。組合で学んだ事を、これからはブレずにいけたらと思います。これまで支えてくれて、ありがとうございます！

寺坂 渉

退任する執行委員

寺坂渉・安藤光枝・石脇のぞみ・大矢佳明・熊沢あゆみ・小島不二子・酒井美咲・関谷裕子・中村英司・野澤衣澄・八萬史織・平石章乃・平野由紀恵・藤野りか・宮越なつき
皆さんお疲れ様でした

【編集後記】

風光るの編集をしていく中で最初の内は、覚えることもたくさんあり、1回1回「どうやってやるんだっけ？」といろんな人に聞きながらやってきたので、1個を作るのにとっても時間がかかり、大変だなと思いましたが、しかし、だんだんと慣れてくると、「こうした方がいいかもねー」などと、みんなに見てもらえるような工

夫も考えながら、やっていくことができました。1年という短い期間でも、風光るの編集に携わることができ、とても楽しかったし、勉強になりました。これからも、いろいろな記事を見られることを楽しみにしながら、風光るを見ていきたいです。

風光る 命・M